

第3次森町総合開発振興計画 第1回審議会 議事録

開催日時：令和8年8月17日（木）15:00～16:15

開催場所：森町防災センター研修ホール（森町消防本部）

出席者：別添令和8年度第1回審議会出欠名簿のとおり

事務局：森町役場 岡嶋町長、岩井企画振興課長、池田参事、菊地課長補佐、
山内課長補佐、平田主事

株式会社 KITABA 安達、冬部

議事概要

1 開会

（岩井課長）

- ・25名中20名の委員出席により、会議が成立している旨を報告。

2 委嘱状交付

（岩井課長）

- ・岡嶋町長より各委員へ委嘱状を交付。

3 町長挨拶

（岡嶋町長）

- ・第3次森町総合開発振興計画は、町政運営の最上位に位置づけられる重要な計画である。
- ・アンケートやワークショップ等を通じて、小学生から高齢者まで幅広い町民の声を丁寧に聴き、町民と行政と一緒に将来像をつくり上げていきたい。
- ・計画は策定して終わりではなく、人口減少や財政状況等の変化を踏まえながら、単に縮小するのではなく、縮めながら充実させる「縮充」の考え方も取り入れ、成果を確認しながら見直していくことが重要である。

4 委員及び事務局紹介

（岩井課長）

- ・各委員の紹介。
- ・事務局（企画振興課、KITABA）の紹介。

5 会長、副会長の選出

(岩井課長)

- ・ 深川委員より、佐藤委員を会長に、宮本委員及び岩島委員を副会長に推薦する旨の発言があった。

(各委員)

- ・ 異議なし。

6 第3次森町総合開発振興計画策定の諮問

(岩井課長)

- ・ 岡嶋町長から佐藤会長へ、第3次森町総合開発振興計画の策定について諮問書を交付。その後、佐藤会長より就任挨拶。

7 議事

(1) 審議会の役割及び会議の運営について

(進行：佐藤会長)

- ・ KITABA 安達より、資料3をもとに、審議会の役割、主な審議内容、開催予定及び計画策定・検討体制について説明。

(各委員)

- ・ 異議なし。

(2) 第3次森町総合開発振興計画の策定について

(進行：佐藤会長)

- ・ KITABA 安達より、資料3をもとに、第3次森町総合開発振興計画の構成・計画期間、第2次計画の体系、第3次計画策定における基本的な考え方及び策定スケジュール（予定）について説明。

(各委員)

- ・ 異議なし。

(3) アンケート調査の実施について（審議事項）

(進行：佐藤会長)

- ・ KITABA 安達より、資料3をもとに、森町の現況・特性、今後の主な検討視点、アンケート調査の目的・考え方及び5種類の調査対象について説明。

(各委員)

- ・ 異議なし。

(進行：佐藤会長)

- ・ KITABA 安達より、資料4-1～5の各アンケート調査票（案）について、前回調査から継続する設問、新たに追加・強化する設問等を説明。

(各委員)

- ・異議なし。

(4) 意見交換

(進行：佐藤会長)

(岩島委員)

- ・第2次計画策定時の人口推計と現在の人口動向がほぼ一致しており、計画が将来を見通す上で重要な役割を持つことを改めて感じた。第1次・第2次計画や過去のアンケート等のデータも比較しながら、財政状況も踏まえ、本当に必要なものや今後も大切に引き継ぐべきものを第3次計画の中で整理していきたい。

(宮本委員)

- ・自身は熊本県出身で、長年森町で農業に携わってきたが、故郷は年月が経っても大切な存在である。森町に暮らす人だけでなく、町外出身者や移住者など、それぞれが持つ故郷への思いも大切にしたい。
- ・農業は暮らしや社会の基盤を支える産業であり、自身の立場・役割から、今後も地域や産業のあり方を考えていきたい。
- ・人口減少への対応について、単に人を奪い合う発想や縮小だけで考えるのではなく、より広い視点から今後の仕組みや地域のあり方を考えることも重要ではないか。
- ・長年の経験だけに頼らず、若い世代を含め、さまざまな人の意見を聞くことが大切である。今後の審議でも委員の意見を聞きながら考えていきたい。

(岡嶋町長)

- ・可能な限り今後の審議会にも参加し、委員の意見を直接聞きながら計画づくりを進めたい。
- ・第1回であり発言しにくい面もあると思うが、それぞれの立場から、現場の課題や将来に向けて大切だと思うことを率直に出してほしい。
- ・今後10年間では、人口減少に加え、災害や環境変化など想定外の変化も起こり得る。そうした変化も見据えて計画をつくる必要がある。
- ・町内会は役員の担い手不足などにより存続が難しくなっている地域もある。必要性についてさまざまな意見がある中で、今後どのように維持していくかを考える必要がある。
- ・公共施設や各種組織についても、財政難や人手不足を理由に単純に統合するのではなく、今の状況を契機として、それぞれの機能や役割を整理し、より良い形を検討していくことが重要である。
- ・漁業や農業などの第一次産業については、担い手が減少する中でも、産地としての力や生産基盤をどのように維持していくかが重要な課題である。
- ・町内では外国人材が増えており、行政ですべての言語や生活課題に対応することには限界がある。また、技能・在留資格上の要件により、地域で経験を積んだ外国人材が継続して働けないケースもあるため、地域の実情を踏まえた支援や制度改善の働きかけも必要ではないか。
- ・総合開発振興計画は、福祉、子育て、防災、産業など幅広い分野に関わる町の最上位計画である。委員には各分野・現場の代表として、会議の範囲を気にせず積極的に意見を出してほしい。

(中田委員)

- ・外国人材を大切にしたい、残って働き続けてほしい。
- ・5年勤めた人はかなり仕事ができるが、特定技能2号を取るには資格試験、日本語能力試験N3取得などハードルが高いため残らないのが現状。
- ・町内に残って働き続けてもらうために、例えば所得税の減税などを町として支援しても良いのではと考えている。

8 その他連絡事項等

(佐藤会長)

- ・KITABA 安達より、今後10月頃を目途にアンケート調査を実施する予定であるため、調査票が届いた際には回答への協力をお願いしたい旨を説明。また、町民ワークショップ等の対話の機会も予定しており、案内の際には参加を検討いただきたい旨を説明。
- ・第2回審議会は11月頃の開催を予定しており、アンケート結果の概要等を報告する予定。

9 閉会

(佐藤会長)

- ・これにて本日の審議会は終了とする。

以上